



1. 生物多様性を育み生態系の学び場となる水景
2. 客席後方が開放され屋外広場と繋がるホール
3. 広場との空間連続性を生み出す各階テラス



日建連表彰2022



第63回BCS賞

GREEN SPRINGS

選定理由 【選考委員】
山内弘隆・堀部安嗣音 順二

訪れてみると近年各地でみられるような再開発とは違ってより地域に密着しながら、そしてこの土地の歴史や自然を継承しながらの爽やかで等身大の人の営みを色濃く感じることができた。そしてこの施設が地域から遊離することなく、あるいは既存の環境に対して優位性を与えたり特別感を醸し出すことなく地域の価値を高めている実態に、利他的で知的な建築と環境のあり方を深く見つめることができる。

まず、この地域に広大な敷地を所有している地域に根ざした事業者だからこそ、一般的な大手デベロッパーなどの力に頼らない独自のローカルな手法で全体の思想が貫かれている信頼感大きい。容積率の効率化を競ったり収益の損得勘定から事業がスタートするのではなく、

あくまで長期的な視点で地域の価値を高めて、その魅力の持続のために全体構想やディテールが決定されている。杓子定規な事業成功の方程式に頼らない手法は、その開発の難易度が上がる反面、手づくり感やあたたかみや包容力といった特に今の社会に必要とされる建築の本来の価値を獲得することに繋がっている。

この計画は建築が脇役に徹している点も見逃せない。物体としての建築の存在は影を潜め、隣接する昭和記念公園の広大な緑と連続する緑豊かな広場が強調され、人の自然な営みや人の気持ちよさといった人の「正」のありようがこの施設の主役になっている。結果として「もの」ではなく「こと」の美しさが浮かび上がっている姿は、本来建築が担わなければならない大切な役割であったことを気づかせてくれる。同時に脇役としての建築の働きやディ

テールもしっかりと考え尽くされている。一階にアクセスしやすい駐車場を集約し、人工地盤となる二階レベルに人や緑の居場所を集約することで自動車と共存しながらも自動車の存在を消すことに成功している。また施設に隣接するサンサンロードのX字街路の動きや視点の変化を施設の庭に連続させ、地域との馴染みのよさを調整しながらも自然に誘い込まれるような人の動きや、遠近感のある奥行きのある風景と意外性のある視界の展開を

もたらしている。更に庭と建物の接点には開放型の建具を設けて、光、風、緑、音などと一体化する緑側的な建築空間となっている。これにより中間期においての省エネルギーにも貢献している。

困難な時代に遭遇している私たちが、もう一度建築の本当の役割を見つめ自然や地域と人の気持ちを繋ぐ重要さを考える上で示唆に富み、かつ希望を与える建築であり、そのことに高い評価を与えたい。

GREEN SPRINGS 概要

- 所在地 東京都立川市緑町3-1
 - 建築主 (株)立飛ホールディングス、多摩信用金庫
 - 設計者 (株)スタジオタクシミス、(株)ランドスケープ・プラス、(株)山下設計、(株)大林組、清水建設(株)、(株)CURIOSITY、(有)ライトデザイン、(有)井原理安デザイン事務所、(株)POOL、(株)フレームワークス、(株)シアターワークショップ
 - 施工者 (株)大林組、清水建設(株)、中島建設(株)、中村建設(株)
 - 竣工日 2020年2月29日
- 敷地面積 38,900㎡
 - 建築面積 29,995㎡
 - 延床面積 76,297㎡
- 階数 地上11階、地下1階、塔屋1階
 - 構造 A-2地区：鉄骨造、鉄筋コンクリート造、コンクリート充填鋼管構造
A-3地区：鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄骨造、鉄筋コンクリート造



詳細や他の写真などは左記の二次元コードからWebページにアクセスしてご覧ください。

《日建連表彰2022 第63回BCS賞受賞作品》 熊本城特別見学通路／熊本都市計画桜町地区第一種市街地再開発事業／GREEN SPRINGS／国立競技場／THE HIRAMATSU京都／三栄建設 鉄構事業本部新事務所／ダイヤゲート池袋／谷口吉郎・吉生記念金沢建築館／東京大学総合図書館／東京都公文書館／長野県立美術館／延岡駅周辺整備プロジェクト／Hareza 池袋／横浜市庁舎／早稲田大学37号館 早稲田アリーナ

BCS賞

BCS賞は、建築の事業企画・計画・設計、施工、環境とともに、供用開始後1年以上にわたる建築物の運用・維持管理等を含めた総合評価に基づいて選考し、建築主・設計者・施工者の三者を表彰する建築賞です。この賞は、1960年にはじまり2022年で63回を数えました。